

「住総研 研究選奨」受賞論文 選評

創作活動の場を核とした複合空間における共創と集客拠点形成
—オランダの De Ceuve1 における空間マネジメントの実態調査— (重点テーマ)
NO. 1505 主査 田口陽子

委員 柄沢祐輔

(選奨評)

本研究は、次のような点で秀逸である。

第一に、都市の持続可能性を考察するにあたって、包括的な視点にたって研究を進めていることである。環境的持続可能性について、日本でも昨今話題になっているいわゆる **brown field** の及び循環型環境システムに焦点をあてて調査・考察をしている。社会的持続可能性については、文化芸術活動の実態に焦点をあてて分析している。経済的持続可能性については、エリアマネジメントの運営・経営実態に着目し調査・分析している。環境・社会・経済の三側面に目配りをして包括的に実証研究をすすめた例は少なく、貴重である。

第二に、こうした各側面への目配りをふまえて、創作活動やその場が、都市の持続可能性に対して保つ意味を考察していこうとしていることである。いわゆる **in-depth-interview** をもとにし現地調査は、主題である「共創、拠点形成」を考える上での貴重な示唆を提供することに成功している。

以上の点に鑑みて、本研究は「研究・実践選奨」に価すると評価できる。